

海難防止・水難救助「全道大会」で長期漁業研修指導者の募集

漁業就業者の高齢化と減少傾向が大きな問題となって久しいですが、その解決のため種々の対策が行われています。当協議会が行っている一般の人を対象とした長期実地研修もその一つです。最近の研修生の数は年に 20 名程度であり、まだまだ多いとはいえない状況にあります。研修生を増やすには、研修生を教える指導者も多く確保する必要があります。残念ながら現状の指導者の数は多くなく、さらに増やすことが求められています。

そこで、昨年度に引き続き、今年度も多くの漁業者が集まる「海難防止・水難救助センター・全道大会（厚岸町若竹岸壁で 7 月 2 日に開催）」で研修事業の周知と指導者募集の PR を行いました。



指導者募集のブースを出展

全道大会が開催された厚岸地域では、これまで研修生を一人も受け入れておらず、多くの漁業者は事業の存在すら知らないのではないかと思います。また、厚岸町が属するえりも以東海域の漁協は経営者組合が比較的多く、新規の漁業就業希望者が独立するのは非常に困難です。その

意味でも指導者を発掘するのは比較的難しい地域といえます。



配布する資料

大勢の漁業者が集まった全道大会で、協議会は指導漁業者を増やすため研修事業の PR に努めました。



全道大会に参加した漁業者の方々